

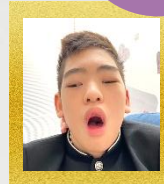
入学・進級
おめでとう

vol.51

2025.4.10

重度障がい児支援 花色

NEWS LETTER



口腔ケアを学ぼう
やってみよう

口腔看護ステーションのあ



花色の開設時から、長い事お世話になっている【口腔看護ステーションのあ】所長 南原 照美 さんに、
花色の親子レクリエーションで口腔指導を行っていただきました。

極端に感じるかもしれませんが、口腔環境と体調は大きく影響します。口腔状態が悪化すると体調不良を引き起こし
入院するというのは、こども達も、高齢者も、災害避難者(災害関連死に繋がります)も同じです。

「でも、嫌がるから…」や、「お口からお食事を食べてないし。」と思って後まわしになる事もあるのではないのでしょうか。

お口からお食事をしていないと、噛む力も弱くなり、顎が小さくなり、舌がお口に入りきれずに外に出てしまうようになります。そうならないように、こどものうちに上顎をマッサージをして、ひろげておく事が大切です。それに…私たちも、朝起きたらお口がネバネバして気持ち悪く感じる事はありませんか？お食事や飲水をとらず、口を動かさないと、唾液の分泌も減り、細菌が滞り繁殖してしまいます。お口からお食事をしていないからこそ口腔ケアは、とても大切です。しかも、南原さんにかかると、お口まわりの過敏がある子も、口腔ケアが好きになり笑顔で口を開けてくれます。「ケア中に、噛まれた事はありませんか？」と聞くと、ちょっと考えてから「無いですね～」と笑顔でお応えくださいました。無理をかけない口腔ケアで歯磨きが好きになってくれる方法をご自宅に「訪問看護」として伺い指導とケアをしてくれます。今回のレクで、こどもの口腔ケアに興味を持っていただくキッカケになったらと思い開催しました。(※訪看(口腔含む)は、小児慢性特性疾病受給者証や、こども医療費受給者証も使えます。)

さて、3月8日(土)の親子レクは、所長の南原さんと、歯科衛生士の美鈴さん、そしてセラピー犬のレイン君が来てくれました。5家族が参加し、ごきょうだい児の皆さまと一緒に「歯磨きできているかな？」と鏡でチェック。口腔ケアを学び、その後はレイン君とふれあいました。「南原さん、美鈴さん、レイン君ありがとうございます！」
どうぞ、これからも宜しくお願いいたします。



しりゅう
獅立くん
がんばって

体調が安定せず、訪問支援を
継続している獅立くん。
肝臓移植がきまり、手術にむけ
医療ジェットで出発します。
「しりゅうくん、頑張ってるね。
みんなで待ってるよ。」



花色に設置した募金箱は、
お友達ご家族と、職員から
60,246円集まりました。
4月10日ご家族にお渡しします。



あたらしいおともだち



3月から
あたらしいお友達
が花色にきました。
ピカピカの小学1年生
「つむぎちゃん」です。

いっぱい
あそぼうね



スタッフ紹介



看護師の金田です。
12月に花色にきました。
こども達と
一緒に穏やかに
過ごしていきます。
宜しくお願いします。

～お知らせ～
保育士の国岡は体調不良の為、
急ですが3月末に退職しました。

花色スタッフの風景

なにしてるの？



2月27日
ホジショニング
内部研修



頭の支え方を・・・

首が痛くならないように
支え方の実践中です。

重度障がい児支援 花色 NEWS LETTER

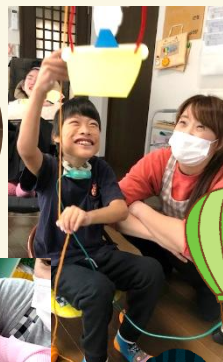
春休みは、
帽子とサングラス
がトレンド



おだいりさ〜まこ、おひなさまぁ〜

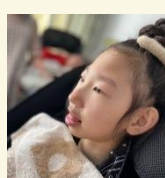
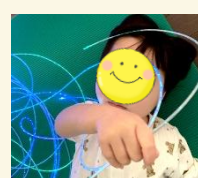
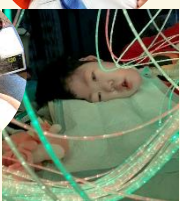


ボウリング大会



実験

くによくにょ
してるよ〜



療育活動

花色スタッフの風景

2月25日
蘇生訓練



3月1日
危険予測
訓練



重度障がい児支援 花色

NEWS LETTER



旭川認定こども園 末広こまどり

いつも
ありがとう



3月17日、年中さん19名のお友達と園長先生・先生方が玄関で待っていてくれました。花色のお友達は少し緊張気味。みんなの大きな声に圧倒されていました。その後、ホールのマットに座りみんなで自己紹介や質問をしあって、すぐに仲良しになり、お歌やストップゲーム大会をしました。お帰りの時に1歳児クラスのお友達とも交流ができました。いつも快く笑顔で迎えてくださりありがとうございます。(次回は5月にお邪魔する予定です。) 伊東尚子



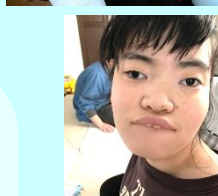
みんなが好きな
～揺れあそび～



旭川冬まつり車窓見学



今年も車窓見学が抽選であたり、
当日、通所していたお友達が参加しました



地域交流会の様子



2月・3月



30年・・・地下鉄サリン事件



1995年 この年の1月に阪神淡路大震災があり、3月には地下鉄サリン事件がおこりました。ちょうど30年前のことです。ごく普通の日常におこった大災害と、一つの事件です。

地下鉄サリン事件、私もあの事件に巻き込まれた一人になります。

3月20日、東京日比谷線の神谷町駅を地下から地上にあがると、交差点にはたくさんの人が倒れ、救急隊が走り回っていました。朝の通勤ラッシュで混雑する中、3本の地下鉄路線で猛毒サリンがオウム真理教によって散布されました。14人が無くなり6300人程が被害にあいました。

あの日は、気の毒に思いながら倒れている人々に圧倒されながら職場にむかい、通常業務を行いました。サリンの影響を受けたと気づいたのは会議資料の文字が、まったく見えなかった時です。白い紙そのものが眩しく、軽く頭痛と吐き気もあった事で、城山ヒルズ(職場)内のクリニックに行きましたが、診察待ちは長蛇の列でした。当日も翌日も翌々日も診察にはつながらず、症状も軽かったことから受診を諦め(解毒剤をうたず)、通常の生活にもどりました。

しかしその後、色々な不調が起こります。喘息と化学物質アレルギーを発症しました。消毒直後のタクシーや電車に乗車すると、目のまが真っ白になり咳が止まらず倒れる事もありました。お食事ではヨーグルトに入っている微量の香料(いちご味)等でも喘息がおこります。人が集まる場所でのお化粧の匂い。洗剤。さまざまな影響を受けてきました。辛さは少しずつ減少している？と思いつつ、やはり今も些細なことから喘息等がおこります。(渡辺一彦小児科アレルギー科の渡辺先生にもお世話になり今に至ります。)

ふと目にとまった“地下鉄サリン事件後30年”の新聞記事。“被害者の会”の報告では、化学物質に対するアレルギー症状(咳や嘔吐)。慢性頭痛。目の症状(まぶしい、疲れやすい、かすむ、見えづらい、異物感がある等)が長く続いている人が多いと記載されていました。私もこのすべての症状を軽度ながら引きずっています。

先月、体調不良でSpO₂が90%前半から上がらず、肩で息をして過ごしました。悪化すると、どんな薬も効かず、呼吸器科の先生もお手上げになります。家族と、花色のスタッフに助けてもらい乗り切ることができました。今回も、些細な外的刺激がキッカケでした。事件後、“後遺症が軽い”私ですら猛毒サリンの影響は今も続いています。30年前におきた無差別テロ。そしてそれを知る当事者が経験を伝えることは、「もう二度とおきないように。」と祈る一歩になるのかもしれませんが。



旭川家具

旭川デザインセンター



旭川家具とクラフトが集結する複合型の施設を皆さま知っていますか？

北海道木材の“素材の魅力”を活かした家具が揃っています。

ユネスコ・デザイン都市(デザイン分野の創造都市)である旭川として、認定されたのは旭川家具の歴史も大きく関係しているそうです。その歴史を学ぶミュージアム・選りすぐりの家具・木材ワークショップで木育ができる体験も充実しています。

ミュージアム空間は3年に一度開催される「国際家具デザインコンペティション旭川」の受賞作品や、旭川家具の歴代の椅子がならび圧巻です。

実は・・・私、旭川に住んで14年ですが、ユネスコ・デザイン都市旭川のデザイン週間「ASAHIKAWA DESIGN WEEK」がある事を初めて知りました。旭川は、良質な木を育む自然環境があり、職人の高い技術力とデザイン力が大きな強みであることも含め、もっと地元の良いところを知っていきたいと改めて思いました。

木のチップ
を踏む感覚



編集後記

ご挨拶そひて今年は・・・



年明け久しぶりのニュースレターの発行となりました。間が空いてしまい申し訳ありません。

昨年11月頃から胃がいれんを繰り返し、先月は呼吸状態も悪化し、思うように動けない4カ月でした。

こども達とのご縁や、興味をもった事柄には、情報を取捨選択し無我夢中で身に付けてきましたが、この所は、無理がきかなくなってきた事を実感しています。

こどもの頃、父は転勤族でした。中学校も1年毎に3校行き、環境がコロコロ変わりました。その頃から「変化したら適応して進め！」と自分自身に言い聞かせて、前を向き新たな環境を楽しんできました。

～その気持ちが変化しつつあり、体力と心のエネルギー量が減っているのでしょうか。「循環」という言葉が妙に心地よくなっています。

恥ずかしながら、少しゆっくりと歩もうと思います。今年度もどうぞお付き合い宜しくお願い致します。

齊藤由紀